

平成27年度 県民の暮らしはこう変わります

○ 子育て支援

項	目内	容	今まで	→	こう変わります
市町村保育給付費負担	子ども・子育て支援新制度が開始				○子ども・子育て支援新制度の基本理念である、質の高い教育・保育を実施 ・休日保育や3歳児保育配置改善（保育士配置を国基準20:1から15:1に充実）等の加算項目の拡充による保育の質の向上 ・施設型給付を受ける幼稚園の所管が県から市町村に移行 ・市町村に認可された「小規模保育」や「家庭的保育」を保育給付費に追加
第3子以降3歳未満児保育料免除	第3子以降の3歳未満児の保育料を無料化				・市町村と連携して、保育所、認定こども園等を利用する第3子以降の3歳未満児の保育料を無料化
放課後児童クラブひとり親家庭利用料補助	ひとり親の子育て・就業活動を支援				・ひとり親（児童扶養手当全部受給）に対し、求職活動等の一定期間、放課後児童クラブの利用料を月額4,000円～8,000円補助

○ 医療

項	目内	容	今まで	→	こう変わります
障害児（者）歯科医療	歯科総合衛生センター（県歯科医師会）の診療体制を充実				・障害児（者）の全身麻酔による歯科治療を歯科総合衛生センターで開始 全身麻酔実施 5施設（障害児1、障害者4）→6施設（障害児1、障害者5）
特定医療対策・小児慢性特定疾病対策	医療費助成にかかる対象疾患を拡大				H27.1月から ・特定医療 110疾患（H27年夏に約300疾患まで拡充予定） ・小児慢性特定疾病 704疾患
密封小線源治療システム更新	子宮頸がん等に体内から照射する放射線治療機器を更新（がんセンター）				患者の治療時間：約2時間 → 治療精度の向上 治療時間の短縮：約1時間

○ 福祉

項	目内	容	今まで	→	こう変わります
生活困窮者自立支援	生活困窮者の自立に向けた相談・支援体制の強化				自立相談支援窓口1箇所 → 自立相談支援窓口5箇所
高齢者施設整備	特別養護老人ホーム整備		10,335床 (整備中含む)	→	10,777床 (県整備174床、市町村整備268床)
障害者グループホーム整備推進	グループホーム整備		定員1,745人 (整備中含む)	→	定員1,972人 (県整備84人の他に中核市整備及び自費整備を含む)

○ 環境

項	目内	容	今まで	→	こう変わります
流域関連公共下水道排水設備工事費補助	流域関連公共下水道の接続率が低い市町村における個人の下水道接続工事に対して補助				補助制度なし → 市町村が補助制度を新設または拡充した場合、補助額の1/2を市町村へ補助（上限5万円/戸）

○ 教育

項	目内	容	今まで	→	こう変わります
特別支援学校の新設（未設置地域解消）	特別支援学校未設置地域に特別支援学校を新設				・H27年4月、吾妻地域に県立特別支援学校（中之条町）が開校 ・これにより県内の特別支援学校未設置地域は全て解消（H25：甘楽富岡地域、H26：多野藤岡地域、H27：吾妻地域）
特別支援学校職業自立推進	特別支援学校高等部生徒の就労支援を充実				・就労支援員の配置：8校（4人） ・1年生進路ガイダンス、企業採用担当者学校見学会：8校で実施 → 就労支援員の配置：9校（5人） ・1年生進路ガイダンス、企業採用担当者学校見学会：病弱を除く全13校で実施

○ 安心・安全

項	目内	容	今まで	→	こう変わります
群馬県・市町村被災者生活再建支援	自然災害により住宅が全壊した世帯等に、最大300万円を支給	10世帯以上の全壊被害等が発生した市町村の被災世帯のみ、国の支援あり		→	1世帯以上の全壊被害等が発生した市町村の被災世帯に、県と市町村が協力して支援（国制度と合わせて、全ての被災世帯が対象となる）
性犯罪・性暴力被害者ワンストップ支援センター運営	性犯罪・性暴力被害者に対する相談支援体制を整備	・性犯罪・性暴力被害者ワンストップ支援センターを開設 ・産婦人科病院を拠点に専門の相談員を配置			
動物愛護拠点施設での動物愛護推進	動物愛護センター（仮称）を設置し、動物愛護業務を推進	○動物愛護センター（仮称）を玉村町に設置（H27.7月開設） ・「命の教室」の開催など動物愛護の普及啓発を実施 ・犬・猫の定期的な譲渡会の開催			
大規模商業施設耐震診断費補助	耐震診断義務化対象となる県内の大規模小売店舗（中小企業所有）に対して、耐震診断費の一部を補助	大規模小売店舗の耐震化を促進			
県立学校の耐震化	地域防災拠点として利用が見込まれている県立学校の耐震化を推進	・14棟の耐震化工事の完了により、県立学校の全ての校舎や体育館等の耐震化が完了 ・国の技術基準に適合しない体育館等（15棟）の吊り天井等を撤去し、落下防止対策が必要な天井材の撤去が完了			
警察官の増員	警察官を20人増員し、ストーカー・DVや特殊詐欺への対策を強化	警察官の定員 3,386人		→	警察官の定員 3,406人
交通施設整備	交通安全を推進するため信号機を60基増設	4,078基		→	4,138基

○ 交通

項	目内	容	今まで	→	こう変わります
7つの交通軸路強化する道路整備の推進	高速交通網の効果を県内全ての地域や産業の発展に活かせるよう、高速交通網を補完する7つの交通軸の整備・強化を推進 ・東毛広域幹線道路 ・西毛広域幹線道路 ・上信自動車道 ほか	高速道路から観光地や工業団地等へのアクセス道路整備が不十分であるために、県内各地で慢性的な交通渋滞が発生		→	以下の路線の供用により、交通渋滞を緩和し、都市間移動の時間を短縮 ・東毛広域幹線道路 〈4車線化工区の随時開通〉 ・西毛広域幹線道路 〈前橋工区・元総社蒼海工区〉 ・国道462号〈新高瀬橋〉 ・主要地方道高崎渋川線 〈渋川街路工区〉
通学路歩道整備	子供の交通事故をなくすための歩道整備	通学路の指定されている県管理道路(671.3km)のうち、歩道等が整備されている割合は81.9%(550km)		→	通学路の歩道新設工事を66箇所を実施 新たに約10kmの歩道を整備
舗装の修繕	幹線道路、観光道路や生活道路の舗装を修繕	舗装がひび割れたり、凹凸で修繕の必要な延長は約130km		→	約80kmの修繕を実施

○ その他

項	目内	容	今まで	→	こう変わります
ぐんま県民マラソン	ぐんま県民マラソンにフルマラソンを導入し、県内外の参加者に本県の魅力をアピール	ハーフマラソン 10kmマラソン リバーサイドジョギング(4.2km)		→	フルマラソン(42.195km) 10kmマラソン リバーサイドジョギング(4.2km)
多々良沼公園の整備	多々良沼公園の完成	公園計画のうち一部が利用可能		→	公園計画のすべてが利用可能に